

令和6年度とちぎ農山漁村発イノベーション実践セミナー 第2回講座実施状況について

- 【日 程】 令和6(2024)年10月1日(火)
【会 場】 とちぎアグリプラザ多目的研修室
【受講者】 22名
【テーマ】 ブランディングとパッケージデザイン
【講 師】 株式会社文化メディアワークス
代表取締役 アートディレクター 佐藤正和 氏

講師から、売れる商品とは何か、ブランディング手法、ネーミングの重要性などの説明があった。

売れる商品は顧客の共感を得ることが大切であり、商品を売る相手は誰か、顧客のニーズを探る、商品の長を訴える、欲しいと感じる言葉を使うなどを念頭に、ネーミングや商品ロゴを作ること。

デザインよりもネーミングから始め、「読み・書き・聞き・言い・覚え」やすさと、直ぐに理解できる表現とすること。

ロゴマークは、農園等の経営の方向性を照らす羅針盤であり、トレードマークとして目立たせるもので、商品価値や生産者の思いなども表現すると良いとのこと。

講座の中で、受講者作成のロゴマークやデザインの個別相談を行い、講師からのアドバイスを受けた。



(講義)



(ロゴマーク等の個別相談)

【受講者の声】

- 直売所への野菜販売でラベルを付けているが、今日の講座を聞いて、もっと工夫したラベルを作成し販売してみたい。
- デザインの個別相談を受けることができ良かった。講師のアドバイス内容を参考にして、シール図案や文言の見直しをしていきたい。
- 講座終了後に実施された受講者交流会は、6次産業化等の取組や苦労話などの情報交換ができ有意義であった。